

2019  
8  
August Vol.41

# JAしまねびより

今月の特集 JAしまね 第5回通常総代会開催



*Naomichi*

瀬幣姫神社(浮布池)  
大田市 三瓶町





第5回

# 通常総代会特集

J Aしまね第5回通常総代会を6月30日（日）、松江市の島根県民会館で開催しました。



2019



議長団



投票風景

当日は、総代定数1,000人（欠員14人）に対し、965人（本人出席575人、委任状5人、書面出席385人）の出席、議長団に、稲田宗総代（くにびき地区本部）、西川友史総代（西いわみ地区本部）の両氏を選出し、各地区本部総代から意見、要望が出される中、前年度事業報告、新年度事業計画など全議案が可決承認されました。竹下組合長が「今年の5月31日をもって政府が定めた『農協改革集中推進期間』が終了した。一定の評価はあったものの、予断を許さない状況は続いている。このような時だからこそ、協同の力を結集するとともに関係機関との連携を強化し、人・農地・地域資源をフルに活用した『農業者の所得増大』『農業生産の拡大』へのさらなる挑戦、そして『地域の活性化』への貢献として、組合員の皆さまの声に基づいた総合事業とJA運営を行っていく」とあいさつ。

来賓の丸山達也島根県知事からは、「昨年6月に県が掲げた農業産出額100億円増加の目標に向け、先般JAグループ島根と島根県の間で目標の早期達成に向けた共同宣言を行い、車の両輪として双方が全力を尽くすことを改めて宣言した。令和という新しい時代にふさわしい積極的な姿勢で連携関係を構築し、水田園芸をはじめとする魅力ある農業の確立、島根の強みを活かした特色ある生産の振興、地域を支えていただく中核的な担い手の確保を強力に推進していきたい。活力ある農業・農村の実現に向けて、引き続き全力で取り組んでいく」との言葉をいただきました。

また、役員改選を行い、その後の理事会において新組合長に石川寿樹の就任が決定しました。石川新組合長のもと新たな執行体制がスタートしました。

# 平成30年度 事業報告

平成30年度は、経済の緩やかな回復の中、企業の設備投資は堅調に推移し、個人消費も持ち直しの傾向となった一方、世界経済の緩やかな減速を背景に輸出は伸び悩み、景気の足踏み感が見られました。

また、海外では米国と中国の経済対立による貿易戦争とも呼ばれる関税政策の応酬や英国のEU離脱を巡る混乱、リーダー照射事件や元徴用工問題による韓国との関係悪化など、国際的な政治・経済の先行きも不透明感が高まっています。

島根県内の経済を振り返ると、雇用情勢は改善の動きが見られ、個人消費も緩やかな持ち直しの動きが見られるものの、少子高齢化、人口減少は一段と進展していく見込みであり、景気回復の実感を得るには至っていません。

農業情勢では、豪雨や台風、地震など多くの自然災害が発生し、全国各地で農産物・農業施設等に甚大な被害をもたらした他、9月に発生した豚コレラはいまだ終息の気配が見えず、復興・防疫の取り組みを引き続き進めていく必要があります。

国際貿易交渉では、平成30年12月にTPP11、平成31年2月に日EU・EPAが発効するなど、関税の削減や撤廃に向けた動きが始まっています。今後、米国との二国間交渉が開始される見込みであり、これらの動向について引き続き注視していく必要があります。

組織情勢では、平成30年6月に公表された農

林水産省による「農協の自己改革に関するアンケート調査」の結果で浮き彫りとなった、自己改革にかかるJAの取り組みと認定農業者等の認識との乖離について、解消に向けた担い手との対話を一層進める必要があります。また、農協改革集中推進期間が期限を迎えることから、平成30年12月から取り組みを始めた「JAの自己改革に関する組合員調査」の結果を受けた組合員との関係強化やJAへの理解促進に向けた取り組みについても引き続き進めていく必要があります。

こうした状況の中、平成30年度は「農業戦略実践3カ年営農計画」の最終年度として、県や市町村、関係機関と連携し、営農指導と経営指導を通じた農業所得の増大、農業生産の拡大に向けた取り組みを実施しました。

取り組みの結果、販売品販売・取扱高が37,752百万円、購買品供給高が33,915百万円、貯金残高が977,670百万円、貸出金残高が298,851百万円、長期共済保有高3,438,480百万円となりました。また、財務状況の安全性を示す指標である自己資本比率は14.06%となりました。

収支面については、事業利益が1,628百万円、経常利益は2,594百万円。当期剰余金は1,869百万円となり、前年度実績を大きく上回りましたが、貸倒引当金の算定方法を変更したことにより、特に信用事業において貸倒引当金戻入益が933百万円発生したことが主な要因です。

## 財務・事業成績の推移

(単位：百万円)

区分	項目	平成29年度	平成30年度
財務	事業利益	1,016	1,628
	経常利益	2,189	2,594
	当期剰余金	609	1,869
	総資産	1,092,634	1,113,478
	純資産	77,986	79,235
信用事業	貯金	984,693	977,670
	預金	499,645	522,005
	貸出金	299,671	298,851
	有価証券	167,390	155,212
	国債	80,375	78,123
	その他	87,015	77,088
共済事業	長期共済保有高	3,541,460	3,438,480
	短期共済新契約掛金	10,184	9,805
購買事業	購買品供給高	34,014	33,915
販売事業	販売品販売・取扱高	38,129	37,752

(注1) 貯金は譲渡性貯金を含む。

(注2) 販売品販売高・取扱高は受託販売品と買取販売品の合計。

## 平成30年度(第5事業年度)剰余金処分

(単位：円)

1. 当期末処分剰余金	2,643,671,345
2. 剰余金処分額	1,983,530,105
(1)利益準備金	374,000,000
(2)任意積立金	1,386,464,000
農業振興積立金	200,000,000
農業災害積立金	200,000,000
教育研修充実積立金	150,000,000
税効果積立金	236,464,000
信用事業システム開発積立金	200,000,000
BIS規制強化対応積立金	200,000,000
施設等更新積立金	200,000,000
(3)出資配当金	223,066,105
3. 次期繰越剰余金	660,141,240

(注1) 出資配当金は年1.0%の割合である。

(注2) 次期繰越剰余金には、営農指導、生活・文化改善事業の費用に充てるための繰越額93,486千円と、地区本部業績還元のために繰越額100,000千円が含まれている。



# 令和元年度 事業方針

## 農業振興

### 方針

令和元年度は「第2次農業戦略実践3カ年営農計画」の初年度となり、第1次計画での成果と反省を踏まえ、島根農業のモデルとなる経営形態を提案することにより農業戦略を明確にし、多くの組合員がJAに結集することで「農業所得の増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の実現につながる目標の達成に向けて取り組みます。

また、JAしまねがリーダーシップをとり、更に組合員の経営基盤の強化を進め、島根県が目標に掲げた「農業産出額目標730億円」「生産農業所得目標300億円」の目標達成に向け取り組みます。



### 重点事項

- ① 新規就農者を含む地域の担い手育成
- ② 担い手経営体の経営課題に対応した農業経営管理支援
- ③ JAの総合力を発揮した事業承継支援の実施
- ④ 農作業等の安全・安心対策
- ⑤ 営農指導での生産者貢献
- ⑥ 農業振興支援事業の実施
- ⑦ 「重点推進5品目」の拡大を核とした水田での園芸振興の推進
- ⑧ 主食用米の「きぬむすめ」「つや姫」への品種誘導
- ⑨ 島根県産農畜産物の安全安心の取り組み
- ⑩ 担い手の労力軽減の取り組み

### 全般

### くらしの活動

豊かなくらし・地域づくりを目的とし、地域活性化の核となる取り組みとしてすすめます。

また、食と農、地域とJAを結ぶ取り組みとして、青年組織、女性部をはじめ組合員や地域住民など幅広い参

加・参画（アクティブ・メンバーシップ）を促進し、農協運動の活性化を図ります。

### 販売事業

しまねブランド商品として市場や卸に頼らない県産農畜産物の販売の強化に取り組みとともに、生産基盤の維持・拡大を図るため、「農業戦略実践3カ年営農計画」に掲げた「販売を起点としたものづくり」の実現に向け、行動計画を策定し進捗管理を行うことにより、生産現場での営農指導と販売を連携させた実践策を講じます。

### 購買事業

農家組合員の営農を支え地域農業の振興に資するため、営農指導部門・販売部門・TACと一体となって効率的な購買事業を進め、農家組合員の生産コスト低減と組合員サービスの充実・強化に努めます。

また、組合員・地域住民の暮らしを支援し、地域の活性化に貢献するとともに、時代の変化・多様なニーズに対応した商品の提供が行えるよう、生活購買事業・店舗購買事業・自動車燃料

事業を積極的に取り組み、より一層のサービスの充実に努めます。

### 信用事業

総合事業の強みを活かして他業態と差別化した価値を提供しつつ、コスト削減につながる事業見直しにより持続可能な収益構造を構築し、農業・地域から一層必要とされる存在を目指します。

### 共済事業

組合員・利用者のくらしを守り、農業経営と地域社会に貢献する活動を展開するため、地域密着の事業活動である3Q訪問活動を通じて「ひと・いえ・くるま」の総合保障の提供及び「農業リスク診断活動」を実践し、一層の『信頼』を高めるとともに、次世代・次世代など新たなJAファン（理解者）づくりにより事業基盤の維持・拡大を図ります。

また、高位均質で満足度の高いサービスの提供、適正・迅速かつ効率的な事務処理の実施及びLabels（※携帯用タブレット端末）の全面活用により事業の効率化・機能強化を図り組合員・利用者ニーズに応えます。



## 新役員代表挨拶



代表理事組合長  
石川 寿樹

この度、竹下前組合長の後を受けて、組合長に就任致しました石川でございます。もとより、その器ではございませんが、よろしくお願い申し上げます。

若干自己紹介をさせていただきますと、わたしは昭和27年生まれ、満66歳になります。昭和52年に当時の出雲市農協に入り、爾来42年に亘り、JA一筋に歩んでまいりました。

さて、7月より3年の任期をいただいたわけですが、わたしに課せられた役割は、大きく二つあると思っております。

その一つは、「統合の効果」を更に発揮することです。平成27年3月にJAしまねが誕生し、早いもので4年余りが経過しました。徐々にその成果が現れつつありますが、とは言え、統合して良かったなあと実感

できるようなレベルには達していません。まだまだ調整すべき事項がたくさん残っていますので、速やかに統一していく必要があります。

そして今一つは、「自己改革」の更なる実践です。政府主導の農協改革の集中推進期間は本年5月を以て一応のピリオドが打たれました。しかしながら、われわれ自らが掲げた「自己改革」は、むしろこれから本番です。例えば、柱の一つである「農業者の所得増大」については、生産資材価格の引き下げ等に取り組んでまいりましたが、まだ引き下げの余地があると思っております。

また、「農業生産の拡大」についても、米の買取制度や独自の農業振興支援事業により、販売高は統合前と比較すると、平成30年度は13億円増の377億円となりました。更に令和3年度を最終年度とする次期中期経営計画では、39億円増の416億円の計画を立てています。自ら立てた計画を絵空事で終わらせるのではなく、目に見える形で実践していくことが、何よりも重要な使命だと思っております。

最後に、今後一層のご理解とご協力をお願い申し上げます、ごあいさつといたします。

## 退任役員代表挨拶



前代表理事組合長  
竹下 正幸

退任にあたりごあいさつを申し上げます。

先の通常総代会を以て、任期満了により平成28年6月より務めてまいりました、代表理事組合長を退任いたしましたこととなりました。

在任中大過なくその任を果たせましたのも、組合員の皆様をはじめ、関係機関、各団体、地域の皆様、そして職員の皆様など、本当に多くの方々のご理解とご協力の賜物と、心から感謝を申し上げます次第でございます。

振り返ってみますと、JAしまねの発足以後、「信頼され、選ばれ、ご利用いただけるJA」を目指し、統合メリットの創出に向けて事業改革や運営改革などに取り組みとともに、「儲かる農業の実現」を目指し、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を最重点課題として自己改革に取り組んで参りま

した。

また、JAの経営は経済情勢と社会情勢の変化もあり、非常に厳しい状況にあるなか、組合員の皆様の負託に応えるためには、JAの健全経営を行う体制整備に併せ、事業改革を実施する事が、私たちに課せられた課題であります。このような中、第4回通常総代会において、次期に向けた運営改革の決議をいただき、平成30年11月の臨時総代会では役員定数の見直し等の新たな運営体制についてご承認いただき、体制整備を行うことができました。一方、事業改革では、信用共済事業において、本店と支店を直結する文鎮型組織とし、事業部制的運営とするなど、一定の方向性を決定しましたが、営農経済生活事業につきましては、取り組まなければならない今後の課題が残存しています。JA改革においてはTPPやTAG等、JAを取り巻く農業情勢は依然厳しい状況が待ち受けておりますが、今後も組合員の皆様のご協力をいただき、役員一同が共通認識を持ち、一丸となって取り組むよう期待しています。

組合員の皆様には、引き続きのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、心からの感謝を申し上げます、退任のごあいさつといたします。

本当にありがとうございました。





# 新役員紹介

J Aしまねの発展につとめてまいります。  
よろしくお願い致します。



常務理事  
(信用、共済)  
有田 吉弘



常務理事  
(営農、経済)  
石川 薫



代表理事専務  
高木 賢一



代表理事副組合長  
山根 盛治



代表理事組合長  
石川 寿樹



くにびき地区本部  
常務理事 本部長  
栗原 令



理事  
佐々木孝子



理事  
高野 智子



理事  
諏訪 智子



理事  
小村 伸治



やすぎ地区本部  
理事  
根来 茂樹



やすぎ地区本部  
常務理事 本部長  
伊藤 精一



くにびき地区本部  
理事  
多久和 宏



くにびき地区本部  
理事  
田中 鈴夫



くにびき地区本部  
理事  
菅井 一



隠岐地区本部  
常務理事 本部長  
佐々木賢治



雲南地区本部  
理事  
澤田 秀樹



雲南地区本部  
理事  
石原 公夫



雲南地区本部  
理事  
新田 昭喜



雲南地区本部  
常務理事 本部長  
竹下 克美





出雲地区本部  
理事  
藤江美由紀



出雲地区本部  
理事  
福島 隆



出雲地区本部  
常務理事 副本部長  
珍部 誠



出雲地区本部  
常務理事 本部長  
岡田 達文



隠岐どうぜん地区本部  
常務理事 本部長  
新谷 徳昭



斐川地区本部  
理事  
青木 広幸



斐川地区本部  
常務理事 本部長  
山根 善治



出雲地区本部  
理事  
永瀬のり子



出雲地区本部  
理事  
伊藤 篤男



出雲地区本部  
理事  
立脇 渉



いわみ中央地区本部  
常務理事 本部長  
佐々木 豊



島根おち地区本部  
理事  
山田 康司



島根おち地区本部  
常務理事 本部長  
日高 光弘



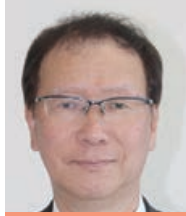
石見銀山地区本部  
理事  
川上 隆



石見銀山地区本部  
常務理事 本部長  
山崎 辰次



西いわみ地区本部  
理事  
青木 和憲



西いわみ地区本部  
理事  
中島 重秋



西いわみ地区本部  
常務理事 本部長  
田村 清己



いわみ中央地区本部  
理事  
藤若 将浩



いわみ中央地区本部  
理事  
中東多久夫



監事  
川神 守



監事  
岡 睦夫



常勤監事  
田尻 宏



常勤監事  
青砥 正幸



代表監事  
名原 佳宏



雲南地区本部  
執行役員副本部長  
源 之美



くまびき地区本部  
執行役員副本部長  
奥原 展芳



員外監事  
山川 博司

# 第5回 総代会



**Q 1 :** 正組員、准組員ともに減ってきている。このことについて、これまでの取り組みや今後の対応策を聞きたい。

**A 1 :** 統合以前より高齢化や死亡による脱退が進む一方で、若年層の加入が進まない状況にあります。今後の大きなテーマとして、我々の組織基盤維持の観点で検討して参ります。その中で、平成29年度より一戸複数正組員化の取り組みを展開しており、今年度も継続して取り組む計画を立てています。また、増資の取り組みとして役職員による増資運動を前年度と今年度の2年間取り組む予定としています。

**Q 2 :** 農林中金からの人材受け入れの背景や、奨励金の引き下げの課題への対応等の考えを伺う。

**A 2 :** 農林中金は農業振興への資金支援が厳しくなるなか、全国で400名、島根県に3～4名程度の農林中金の職員を派遣する人的支援に方針が変わってきています。また今回の役員改選では農林中金から理事を受け入れる提案としています。奨励金の引き下げは以前から話があり、大変厳しい内容の中で中期3カ年計画を策定いたしました。事業改革を含めてこれから取り組んでいく考えです。

**Q 3 :** 貸倒引当金の算出方法の変更に伴う戻入益10億円とあるが、変更となった経過を確認したい。

**A 3 :** 公認会計士監査や財務処理の基準例が変更になり、これまでの税法基準から、貸倒実績率に基づく引当てを合理的な基準として引当てることとなりました。その結果、これまで引当てていたものを戻し入れることになりました。

**Q 4 :** 県内農業の持続可能な発展に向け、様々な担い手・後継者対策がなされてきたが、目覚ましい解決に

は至っていない。これからは行政との連携を更に進め対応することが求められるが、JAしまねの社会的使命を今一度伺いたい。

**A 4 :** 非常に大きな課題であり、JAのみならず島根県をあげて取り組むべき問題と思っています。特に農家を中心とした中山間地の人口減少には、産業政策、農業振興政策、そして住みよい町づくりといった課題のもとに、行政や地域の皆さんと一緒に取り組む問題と思っています。その中で、JAも率先して取り組んで参ります。

**Q 5 :** 教育研修機能を県中央会へ移管するとあるが、考え方やあるべき姿を伺う。また事業総利益に基づく配置ではなく、農家が必要とする人員配置や要員管理をお願いしたい。農業は土地と結びついた生産作業であり、農業者に寄り添った職員の教育が中央会にできるのか不安に感じる。地元に着した教育研修をもっと取り入れてほしい。

**A 5 :** 統合により教育研修の担当部署を県中央会からJAしまねの内部部署に移管した経過があります。その後の検討で、教育研修についてはJA内部よりも外部の機関がJA職員研修、育成にあたるべきであるとの考えがまとまりました。全国中央会が教育研修の統括機関として存在している中、全中、県中にてJAしまねの職員教育、人材育成を行うかたちに体制を変更するものです。またJAの事業は総合事業ですので、人員配置にあたっても事業の特性、実態を念頭におきながら基準を定め今後再配置等を実施して参ります。地域に着した教育研修についても検討して参ります。

このほかにも幅広くご意見をいただきました。



本総代会にて付議した議案は次のとおりです。

- |        |                                  |
|--------|----------------------------------|
| 第1号議案  | 平成30年度事業報告及び剰余金処分案について           |
| 第2号議案  | 第2次中期経営計画（令和元年度～令和3年度）の設定について    |
| 第3号議案  | 第2次農業戦略実践3カ年営農計画の設定について          |
| 第4号議案  | 令和元年度事業計画の設定について                 |
| 第5号議案  | 役員選任について                         |
| 第6号議案  | 定款の一部変更について                      |
| 第7号議案  | 規約の一部変更について                      |
| 第8号議案  | 監事監査規程の一部変更について                  |
| 第9号議案  | 経営基盤強化積立金規程の一部改正について             |
| 第10号議案 | 会計監査人の選任について                     |
| 第11号議案 | 令和元年度指導事業に要する経費の賦課及び徴収の方法の決定について |
| 第12号議案 | 退任理事に対する退職慰労金の支給について             |
| 第13号議案 | 退任監事に対する退職慰労金の支給について             |
| 第14号議案 | 令和元年度における理事の報酬額の決定について           |
| 第15号議案 | 令和元年度における監事の報酬額の決定について           |
| 報告事項   | 「JAバンク基本方針」の変更について               |





# 「JAしまね自己改革取組宣言」 に基づき、自己改革を一層進めて まいります。

6月30日の第5回通常総代会において、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つの基本目標の実現に向けて、引き続き、組織を挙げて取り組む旨の「自己改革取組宣言」（案）が満場一致で採択されました。

## JAしまね 自己改革取組宣言

JAは、農畜産物の販売事業のほか、信用事業、共済事業などの様々な事業を、営農相談やくらしの相談活動などを通じて総合的に結びつけ、農業振興や地域づくりに取り組んでいます。「総合事業」として実施しているからこそ、JAの経営基盤が安定し、組合員の負託に応えることが可能となっています。

また、人口減少や高齢化が進むなか、JAの各事業・サービスの提供による生活インフラ機能の発揮と、「食と農」、「助け合い」の視点から、組合員だけでなく地域住民の方々にも参加いただく「JAくらしの活動」の展開が、ますます重要なものとなってきています。

近年、農業者である正組合員に加え、JAの事業を利用し、JAの理念・活動に賛同いただける地域住民の方々の准組合員加入が増えています。准組合員の立場から、JA、農業者が進める「食の安全・安心」の取り組みを「地産地消」という形で後押しするとともに、JAが行う各組織活動への参加によって、地域農業を支える「農業振興の応援団」となっています。正組合員と准組合員の一人ひとりが力を合わせ、地域の農業とくらしを支えあっているのです。

こうした環境・背景を踏まえ、JAしまねは自己改革の3つの基本目標の実現に向けて、組合員の皆さまとともに、以下のとおり組織をあげて取り組みを進めてまいります。

### 記

1. 農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化に取り組めます。
2. 協同組合の原点に立ち返り、組合員の皆さまとの話し合いを、より一層深めていきます。
3. これまでも、これからも、JAしまねは総合事業を展開し、地域にとって、なくてはならない組織であり続けます。

以上

令和元年6月30日

第5回 島根県農業協同組合 通常総代会



雲南

## 農業者・女性部健診新設 対象広く項目充実

雲南地区本部とＪＡ島根厚生連は、農業生産や日々の生活の土台となる「健康づくり」を支援しようと、今年から新設した「農業者・女性部健診」を6月21日に同地区本部で実施しました。

農業従事者や女性部員をはじめとした組合員が対象で、一般的な健康診断の項目にはない、胸部ＣＴ検診（40歳以上）や甲状腺検査などがセットとなって、ＪＡグループの助成により7,000円で受けることができます。健診を受けた女性は「かかりつけ医では受けられなかった血液、尿検査の他にも色々検査できてよかった。来年も受けたい」と健診内容に満足した様子でした。

ＪＡ島根厚生連健診普及部の江角幸夫部長は「受診者アンケートでは約40%の方が、毎年健診を受診していない現状にあり、ＪＡグループが魅力ある健診を提供し、直接、組合員に呼び掛けることは大いに意義がある。今年は県内全11地区本部で実施を予定しており、各地区本部と協力して取り組みを進めたい」と話しました。



「農業者・女性部健診」を受ける女性

くにびき

## カボチャを重点振興品目に！ 6月下旬より共販出荷を開始

くにびき地区本部は7月2日、中海干拓研修センターで「カボチャ出荷検討会」を開催し、生産者やＪＡ職員、各市場担当者など43名が参加しました。

6月27日より、松江市内の市場を中心に広島や大阪の市場に向け、共販出荷を開始しており、品質や生育状況、出荷する際の規格や品質基準、収穫適期、保存方法を確認する目的で開催しました。

当日は、松江合同青果や広印広島青果、東果大阪の担当者が市場の情勢について解説。続いて、営農指導課の犬山浩二園芸特産係長が「収穫後にキュアリングをすることで腐れを防ぎ、甘みも増す。収穫適期を逃さず、適切な保存に努めてほしい」と説明しました。その後、参加者は出荷前のカボチャを実際に手に取ったり、試食したりするなど品質や味を確認しました。

同課の岩田政彦課長は「昨年より重点振興品目として取り組んでいる。ほくほくとした食感と濃厚な甘みを堪能してほしい」とＰＲしました。

参加した吉岡清さん（朝酌町）は「コクがあり、おいしいカボチャなのでたくさんの方に食べてもらいたい」と話しました。

今年度は共販面積を1.6haから3.5haに拡大。出荷量は92tを計画しており、出荷は8月末まで続きます。



カボチャを手に取り状態を確認する参加者

隠岐

## ＪＡ女子大学で ぶどう狩りを体験

ＪＡしまね女子大学隠岐キャンパスは7月27日、第8回目の講座として日帰り修学旅行を行いました。朝早くから高速船レインボーに乗船し、出雲地区本部管内でぶどう園を経営する大社観光ぶどう園へ出かけました。ぶどう園では、今が旬の「デラウェア」狩りを体験し、出雲地区本部管内の特産品であるぶどうを味わうことができ、参加した生徒からは「甘くて大変おいしい」と好評で、1人2房程度はぺろりと食べていました。今年は天候不順等の影響で良品が例年に比べて少ないとのことから、生徒からは「良品のぶどうが沢山ある時にまた来たいね」と声が聞こえました。

ぶどう狩りの後は、歴史を感じる体験を目的に松江の堀川遊覧船に乗船しました。隠岐の人間は船に乗る機会が多いものの、風情のある松江城の周辺をゆったりと遊覧できたことは、一緒に旅をした者同士の良い思い出になりました。



やすぎ

## ホック食育フェスタで 金芽米をＰＲ

やすぎ地区本部は松江市のくにびきメッセで6月22・23日の2日間、(株)フーズマーケットホックが主催する「ホック食育フェスタ2019」に出展しました。

同地区本部はＪＡしまねの「金芽米」と「ロウカット玄米」をＰＲするため、試食や健康特性の説明などを行い、来場者に好評でした。また、家庭でも食べてもらおうと、サンプルとして金芽米3合を400袋プレゼントし、サンプルを受け取った来場者は「今日いただいた金芽米を家族と一緒に食べてみます」と話しました。

今年は食品メーカーをはじめとする約60のブースが出展、2日間で約1万名が来場し大いに盛り上がりました。精米センターの三島裕所長は「金芽米のおいしさを実感してもらおう良い機会となった。さらに金芽米の認知度を高めたい」と話しました。





**斐川 美肌はとむぎ料理講習会**

斐川地区本部よい食工房は7月9日、ひかわあぐりキッチンふぁみーゆで「誰でも簡単・お手軽レシピ」と題して「美肌はとむぎ料理講習会」を開催しました。はとむぎに興味を持つ13名が参加し、郷土マクロビアンの岡 里美さんを講師に招き、「はとむぎ茶飯」「とうもろこしとはとむぎのスープ」など計5品を調理しました。出来上がった料理を岡さんと一緒に堪能しながら、はとむぎについての効果・効能についての説明を受けた参加者は、「地元こんな素晴らしい食材があったなんて驚いた!」「健康と美容のためにも、これからも家族で食べていきたい」などと感想を話しました。健康・美容志向が高まる中、よい食工房では斐川町産のはとむぎの良さを多くの人に知ってもらうために、このような料理講習会を今後も継続して開催していく予定です。



**石見銀山 大田市長へメロンを贈呈**

温泉津町施設園芸組合の岩倉勝政組合長、厚朴邦広副組合長は7月11日、大田産メロンPRのため大田市役所を訪れ、楢野弘和大田市長に「アムスメロン」を贈呈しました。同組合では7月3日から「アムスメロン」の出荷が始まっています。

早速、試食した楢野市長は「とても甘くておいしい」と感想を話しました。

岩倉組合長は「糖度が高く、美味しいメロンに出来上がっている」と語りました。

大田市長へのメロン贈呈は地元産のメロンを広くPRしていきたいという思いから企画しています。

楢野市長は「暑い中の作業だが、体調に気をつけながら地域のために頑張っていたください」と激励しました。



市長（左）にメロンを贈呈する岩倉組合長（中央）、厚朴副組合長

**隠岐 どうぜん 令和初の家畜市場の開催**

7月3、4日の両日、新元号初の隠岐どうぜん管内家畜市場が開催されました。隠岐諸島では、春（3月）、夏（7月）、秋（11月）の年3回家畜市場が開催され、島の一大イベントとして風物詩となっています。隠岐どうぜん管内は、知夫里島（知夫村）、中ノ島（海士町）、西ノ島（西ノ島町）の3島3町村で構成されており、各町村に家畜市場が常設されていて、畜産の重要性が理解できると思います。3日の知夫市場を皮切りに、海士市場、翌4日の西ノ島市場と、子牛240頭、成牛22頭の合計262頭の上場となり、前回（3月）市場より上場頭数は減りましたが、平均価格は若干上昇しました。畜産総合施設として開設した西ノ島家畜市場が、関係者の協力によりスムーズな運営となり、無事1周年を迎えた記念を込め、前日の2日に当施設中央広場にて、購買者、畜産農家とJAをはじめとする関係者による、バーベキュー意見交換会を開催しました。出席者の貴重な意見を聞くことができ、有意義なひと時となりました。また、今後もこのような場を設けてほしいとの声が多く聞かれ、畜産の活況に結び付けたいと同時に大きな励みになりました。



**出雲 島根県産シャインマスカット 出荷本格化を前に目合わせ**

出雲地区本部は7月15日、同地区本部荒茅ぶどう集荷所で令和元年産「シャインマスカット」の出荷目合わせ会を開きました。出荷の本格化を前に、生産者ら約150人が等級規格を確認しました。

同地区本部管内の「シャインマスカット」の作付面積は右肩上がりで増えており、今年産は28ヘクタール（前年比16%増）で栽培します。ギフト需要に対応するため8月上旬までの出荷量を伸ばし、管内の販売金額3億円を目指します。

同部会大粒系部の吾郷均部長は「品質重視で他産地と勝負していく。商品を扱っているという意識を持って、選果選別を徹底してほしい」と呼びかけました。

JAしまねでは、激化する産地間競争に対応しようと、今年産から県下の「シャインマスカット」の共同計算を実施しています。一元的に管理して品質の高位平準化を図るとともに、ロットの拡大で売り場確保、県産「シャインマスカット」の地位向上を図ります。



出荷規格を確認する生産者



西いわみ

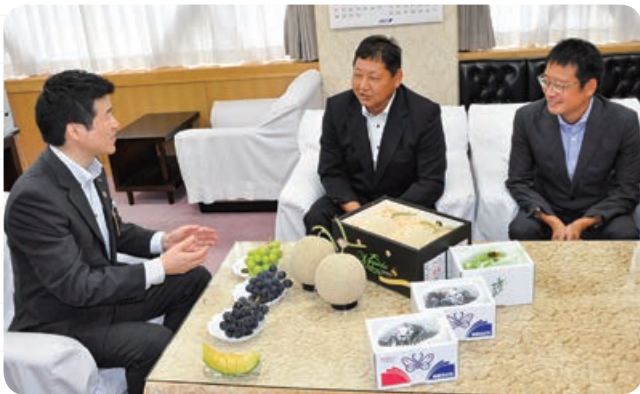
## 益田市長に旬のメロンと ブドウを贈呈しました

旬を迎えるメロンと、大粒系ブドウを味わってもらおうと7月10日、益田メロン部会(部会長大場尚俊)と西いわみぶどう部会(部会長岩本和雄)が揃って益田市山本浩章市長を訪ね、「アールスメロン」と「シャインマスカット」「巨峰」「ピオーネ」を贈呈し益田産農産物をPRしました。

当日は同市常盤町の市長室に、大場部会長と岩本部会長が化粧箱に入った「アールスメロン」と「シャインマスカット」「巨峰」「ピオーネ」を持参しました。

試食した山本市長は「メロンは口当たりが良くとても甘い。ブドウも香りが良くおいしい」と喜びました。

JAでは、今後も管内農産物のPRや販売促進に向けた取り組みを継続していく計画です。



島根  
おおち

## ケイトウ栽培いよいよ大詰め

島根おおち女性部では営農活動として「ケイトウ栽培」に取り組んでおり、今年で8年目をむかえました。2月に開催した「ケイトウ栽培講習会」を皮切りに、4月中旬からは各支部で「種まき講習会」、5月には「定植に向けた栽培現地講習会」、6月には「栽培管理講習会」、7月には「出荷目合わせ会」を開催し、出荷のピークとなるお盆に向け準備を行っています。天候に左右され、毎年様々な課題もありますが、4月に一粒一粒丁寧に蒔いた種は順調に成長し出荷時期を待っています。今年も「赤」、「オレンジ」、「ピンク」3色のケイトウの出荷を予定しています。

島根おおち女性部では「ケイトウ栽培」の活動を継続していくことで、ケイトウ栽培の輪、そして女性部活動の輪を拡げていきたいと考えています。



ケイトウの生育状態を確認する島根おおち女性部寺内部長

本店

## アグリミーティング& 農機総合展示会 大盛況!

6月13、14日の2日間、松江市のくにびきメッセで「アグリミーティング2019」と「第9回農機総合展示会」を開催しました。

今年のテーマは「『新時代』みんなで創るしまねの農業～島根の農業半端ないって!!～」に設定。相談コーナーなど様々なブースや、最新農業機械を展示し、担い手の皆さまが抱える様々な課題の解決に向けて、JAグループの総合力を発揮し提案しました。県内で生産された旬の野菜や果物、加工品を販売し島根農業の魅力を発信する「島根大産直市」も同時に開催し、2日間で担い手や一般消費者あわせて5,500人の皆さまにご来場いただきました。

メインステージでは「下町ロケット ヤタガラス編」の登場人物のモデルとなった北海道大学大学院農学研究院副研究院長・教授の野口伸氏から、スマート農業技術の必要性や実用化が期待される最新の技術について講演いただいたほか、女性部フレッシュミズ部会がプロデュースした農作業着ファッションショーを行うなど会場は大変盛り上がりしました。



相談ブースやメーカーの展示が並ぶ会場は多くの人で賑わいました

いわみ  
中央

## 青年連盟 出前授業で地域と交流

いわみ中央青年連盟(柿木悟委員長)は7月19日、公民館活動の一環として浜田市社会福祉協議会の生活支援コーディネーターからの依頼を受け、この度、初めてこんにゃく作りの出前授業を行いました。当日は20名の参加者を4班に分け、こんにゃく芋をサイコロ状にカットするところから作業を始めました。作業中は和気あいあいとおしゃべりしながらでしたが、最終工程の茹でる段階になると、他の班の出来具合が気になるのか、集中し徐々に無言になりました。自分達で作ったものは臭みもなく、格別においしいこんにゃくが出来上がりました!参加された皆さんは大満足でした。青年連盟は今後も交流活動や、食農教育活動を積極的に行っていきます。





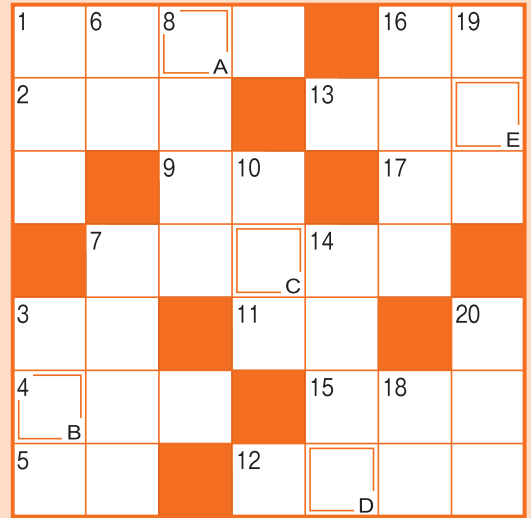
タテのカギ

- ① テレビのリモコンにはたくさん付いています
- ③ くだらかな——が続く丘陵地
- ⑥ 合唱部が練習するもの
- ⑦ 耳かきと共に行方不明になりやすいそうです
- ⑧ 今からこれじゃ、——が心配だなあ
- ⑩ 仲人から紹介を受けて、伴侶候補と会います
- ⑭ 宴会でグラスをみんなで掲げて……
- ⑯ 相撲の勝敗を記録した——表
- ⑱ ゴホゴホゴホ
- ⑲ 価格が高くなること
- ⑳ 煮物などに使う、アルコールを含む調味料

ヨコのカギ

- ① 9月1日は——の日。非常持ち出し袋や避難経路を確認しましょう
- ② 高知の名物料理、カツオの——
- ③ 皮膚の表面にある細かな模様。——の細かい肌
- ④ 食器を拭く布です
- ⑤ いがに守られた実がなります
- ⑦ 晴れた十五夜にはとても明るい
- ⑨ 矢を射る道具
- ⑪ 陽の反対語
- ⑫ 国や地方自治体に納めます
- ⑬ 首都はモスクワ。大きな国です
- ⑮ 肉料理に添えたり、刻んでスープに浮かべたりする香草
- ⑯ 傘にも凧(たこ)にもあります
- ⑰ バラの茎にある突起

二重マスの文字を A ~ E の順に並べてできる言葉は何でしょうか？



答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で40名(JAしまね全体)の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒694-0041 大田市長久町長久ハ56-1  
JAしまね 石見銀山地区本部 企画推進課 「クイズ」係  
2019年9月5日(木)(当日消印有効)

先月号の答え 「キモダメシ」



・お預かりした個人情報は、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはありません。



要注意、熱中症

JA島根厚生連

毎日暑い日が続いていますね。夏は熱中症に注意が必要です。重症化すると命に関わります。熱中症の症状を理解し、予防に努めましょう！

◎熱中症は、高温多湿な環境に私たちの身体が適応できないことで生じる様々な症状の総称です。以下のような症状が出たら、熱中症にかかっている危険性があります。

- 1. めまいや顔のほてり
- 2. 筋肉痛や筋肉のけいれん
- 3. 体のだるさや吐き気
- 4. 汗のかき方がおかしい(何度拭いても汗が止まらない、まったく汗が出ないなど)
- 5. 体温が高い、皮膚の異常
- 6. 呼びかけに反応しない、まっすぐ歩けない
- 7. 水分補給ができない

このような症状が出ないように、日頃から熱中症の予防・対策をおこないましょう。

●熱中症の予防のための3つのポイント

- ① **脱水対策**——のどが渇かなかつたり、汗をかかなくても水やお茶などでこまめに**水分補給**します。大量に汗をかくと、汗とともに塩分(ナトリウムなど)も失われます。その場合は、水分に加え、塩分補給が必要です。スポーツドリンクを利用してもよいです。入浴時や睡眠時にも汗をかいているので、入浴前後、寝る前、起床時にも水分を補給しましょう。
- ② **体の内部の温度を上げない**——外出するときは、**11~15時ごろの日中の暑い時間帯**を避けます。また、外出や屋外での活動をする場合は、天気予報や環境省の「熱中症予防情報サイト」で、暑い日や時間帯を確認するとよいでしょう。外出したら、こまめに涼しい場所での休憩をはさみ、水分補給をします。
- ③ **室内を涼しくする工夫**——熱中症の約40%は室内で起きているというデータもあります。部屋はカーテンなどで日ざしを遮り、**エアコンと扇風機を併用**して温度を下げましょう。特に高齢者は、暑さを感じにくい場合があります。**温度計や湿度計**を使って数字で確認し、温度は28℃、湿度は70%を超えないようにします。

正しい理解・適切な予防で、暑い夏を乗り越えましょう！！



## 第5回

## 地区本部総代説明会開催

## 平成30年度事業報告

## ① 営農指導事業

園芸産地の振興に向けリースハウス事業に取り組むとともに、ぶどう栽培面積を拡大し、アスパラガス・白ねぎの栽培を推進しました。WCS用稲生産と供給・稲わら収集及び堆肥散布の体制を整備しました。畜産については、県央地区畜産総合センターの利用促進と支援事業の実施により、繁殖和牛の増頭に努めました。

## ② 販売事業

管内の指定産地を基本とした収穫前契約による「結びつき米」の拡大に努め、「ふるい目1・9ミ」への更新を推進しました。

また、インターネット等で園芸品目の産地・商品情報の発信を行い、有利販売に取り組みました。

## ③ 経済事業

生産資材について、県下銘柄集約した肥料農薬の推進・大型規格品の推進により、生産コストの低減に取り組みました。店舗購買は、

地産地消を基本とし、産直の拡大に努めました。葬祭事業は、高質なサービスを提供するため教育・研修を実施し、利用者に満足いただける葬儀施行に努めました。

## ④ 信用・共済事業

島根県西部地震により被災した組合員・利用者への迅速な対応により、精神面の不安の解消や、復旧に努めるとともに、被災者への災害対策資金を創設・改正を実施し、金利、条件面で利用しやすい資金を提供する中で、農業・生活の両面から復旧支援を行いました。また、低金利環境下における組合員・利用者の資産形成・資産運用へ向けた相談機能の強化、自動車損害調査体制の見直しを図りました。

## 令和元年度事業計画

## (1) 基本方針

地域農業生産基盤の拡充と販売体制の確立、安全安心な農畜産物の提供に努め、JAの総合力を一層発揮することで、地域に貢献し、次世代につながる豊かで安心して暮らせる地域社会の実現を目指し



JA石見銀山地区本部は6月14日、地区本部多目的ホールにて、第5回JA石見銀山地区本部総代説明会を開きました。

管内各地区の総代定数69人のうち、42人の総代にご出席いただきました。平成30年度事業報告、令和元年度事業計画は次のとおりです。

## 就任のご挨拶

理事  
川上 隆



このたび、石見銀山地区本部理事に選任され、去る7月1日付けで就任いたしました。

地域に愛され、信頼され、必要とされるJAとなるよう努めます。何卒、皆様のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 退任のご挨拶

常務理事副本部長  
岩佐 重信



このたび、6月30日をもって、常務理事副本部長を退任いたしました。

石見銀山農業協同組合の時代より永きにわたり重責を務めることができましたのも、ひとえに皆様のご厚情の賜物と心より感謝いたしております。





ます。

**① 持続可能な地域農業の実現**

農業者の所得増大と農業生産拡大のため、農業を支える担い手の育成・支援、次世代リーダーの養成に継続して取り組みます。

**② 豊かで暮らしやすい地域社会の実現**

豊かな自然・文化・歴史ある資源を活かし、魅力ある地域社会を維持・形成していくため、「食」と「農」を通じた社会づくりと地域活性化に貢献します。

**③ 未来へつなぐ経営基盤の確立**

組織・財務・事業基盤の維持・拡大を図るとともに、人を育てる職場づくり・風土の構築に努め、安定的な経営基盤の確保に努めます。

**(2) 事業方針**

**① 営農・農業振興**

園芸については、ほ場整備と一体的に高収益作物であるキャベツ・白ねぎ等の生産拡大と、リースハウスを活用した施設園芸の生産拡大を図ります。

畜産については、酪農・養鶏の生産基盤強化・拡大に努めると



もに、県央地区畜産総合センター

の利用促進、増頭支援事業の実施による繁殖和牛の増頭を図ります。

**② 暮らしの活動**

豊かで暮らしやすい地域社会の実現を目指して、「食と農」、「助け合い」を柱に、組合員や地域住民参加による生きがい・ふれあいの場づくりを進めます。また、女性・青年組織との更なる連携により、組織活動の活性化を図ります。

**③ 信用事業**

農業者の多様化するニーズや成長ステージ等を踏まえた資金対応を実施します。また、相続相談や資金運用相談等、利用者のライフ

イベントに応じた各種相談機能・

提案力の強化を図り、地域に貢献する金融サービスの提供に努めます。

**④ 共済事業**

「3Q訪問活動」による共済金請求漏れの確認や、共済事業の「お役立ち情報」を提供する中で、「ひと・いえ・くるま・農業」各種ニーズに合った総合保障を提案することにより、「安心」と「満足」の提供に努めます。

**⑤ 購買事業**

銘柄集約した水稻肥料・農薬の普及やジェネリック農薬並びに安価な園芸肥料の品揃えを充実させ、農業生産コストの低減に取り組みます。店舗購買については、地産地消を基本とし、「安全・安心・新鮮」にこだわった店舗運営に努めます。

**⑥ 利用（葬祭）事業**

教育・研修による計画的な人材育成により、葬儀施行技術の向上に努め、より高質なサービス提供を目指します。また、多様化する葬儀ニーズへの対応力を強化し、組合員・利用者に満足いただける葬儀施行を実践します。

財務・事業成績の推移

(単位：百万円)

区分	項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
財務	事業利益	94	71	52	89
	経常利益	158	127	115	119
	当期剰余金	122	110	93	33
信用事業	貯金	51,172	51,027	51,699	50,972
	貸出金	13,847	13,670	13,685	13,818
共済事業	長期共済保有高	206,564	198,499	189,149	185,351
	短期共済新契約掛金	592	601	590	583
購買事業	購買品供給高	2,773	2,496	2,522	2,219
販売事業	販売品販売・取扱高	2,664	3,046	2,981	3,221
業績還元実施額			6	4	2

(注1) 財務項目は本店配賦後。貯金は譲渡性貯金を含む。(注2) 販売品販売・取扱高は受託販売品と買取販売品の合計。



# メロン出荷がスタート



温泉津町の温泉津町施設園芸組合は7月9日、同町のメロン選果場で、ゆのつメロン(品種『アムス』)の出荷式を開きました。組合員や関係機関職員が見守る中、県内、大阪などへ向け出荷しました。

同組合の岩倉勝政組合長は「体調に気をつけながら収穫に励み、良質なメロンを出荷していきたい」と語りました。

来賓として出席したJA石見銀山地区本部の川上隆理事は「1億円産地を目指して、頑張っていたくださいたい」と激励しました。

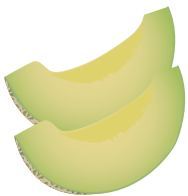
当日は、温泉津小学校3年生が同組合の厚朴邦広副組合長のほ場でメロンの収穫体験をしました。メロンの収穫を通して、地元の農業に親しむ重要な機会となっています。

実際に収穫体験をした児童からは「重くてびっくりした」、「早く食べたい」と感想を話しました。

収穫体験をした後は、選果場を訪れ、メロンの選果の様子を見学。JA担当職員がメロンが出荷される過程を説明しました。

岩倉組合長は「春先の種まき、今回の収穫を行ってもらい、メロン栽培の重要な作業を体験してもらった。子どもたちの中から、将来、メロン農家になる人がいてくれると、組合としても非常に嬉しい」と笑顔で話しました。

温泉津町施設園芸組合は、12戸が栽培面積2畝で『アムス』『アールス』の栽培に日々、力を入れています。







『牛乳もち』を作る参加者

「牛乳もち」を作った後は、(有)中山農場を訪れ、牧場見学をしました。間近で乳牛を目にした参加者からは「初めて近くで乳牛を見た」、「大きくて驚いた」など感想を話しました。

**TOPICS 1** ●あぐりスクール  
牛乳を使ってスイーツ作り  
JA石見銀山地区本部が運営する食農体験『あぐりスクール』が、2回目の講座を開きました。参加者親子は、6月に地区本部ほ場に植えたナス、ミニトマト、ピーマンを収穫。「早く食べた

い」など感想を話しながら、賑やかに親子で収穫を楽しみました。収穫を終えた後、JA

# 千両箱 トピックス



出品牛を審査する審査員

**TOPICS 3** ●富山町畜産共進会  
9頭が出品

富山町和牛改良組合は7月19日に、富山町の八重山神社にて共進会を開きました。同組合の神谷光夫組合長は「組合員で力を合わせ、地元の畜産を盛り上げていきたい」と語りました。共進会では9頭が出品された他、会場の八重山神社にて例祭が行われ、生産者や牛の健康を祈願しました。



『アムスメロン』を試食する消費者

**TOPICS 2** ●メロン・アスパラガス試食宣伝  
消費者に地元産をPR

温泉津町施設園芸組合と石見銀山アスパラガス生産組合が7月12日、JAグリーンおおだで、それぞれ「アムスメロン」、「アスパラガス」の試食宣伝をしました。試食した消費者からも「美味しい」、「レシピを参考に作ってみたい」など、上々の評価を聞くことができました。

広げました。決勝戦では、久手スポート少年団がSTブルースを3-1で破り、優勝しました。これにより久手ス

**TOPICS 4** ●JAカップ第36回島根県学童軟式野球選手権大会大田地区予選  
久手スポーツ少年団が県大会へ出場

JAカップ第36回島根県学童軟式野球選手権大会(県軟式野球連盟、山陰中央新報社主催。JAしまね、JA共済連島根特別協賛)の大田地区予選が7月27・28日の2日間、大田市民球場で開催されました。市内から7チームが参加し、島根県大会出場を目指し、熱戦を繰り広げました。決勝戦では、久手スポート少年団がSTブルースを3-1で破り、優勝しました。これにより久手ス



開会式の様子



**総合ポイント対象旅行**  
JAしまね 総合ポイントカードのある旅行は、本ポイント付与対象の商品となります。

# JAしまね統合4周年企画旅行

観光農林観光サイト  
**しまねがしまの旅**  
協力：観光がでしまキャンペーン推進協議会

## 出雲縁結び空港発着 FDA 直行チャーター便利用!!

# 世界遺産 屋久島と種子島



**3日間**

2泊とも2名様より1部屋で用意

バスを降りると目の前の  
**3千年の歴史に感激!!**



**▲ヤクスギランド** 樹齢数千年の屋久杉を含む屋久島の原生林を観賞することができます。

**推定樹齢3千年 樹高19.5m・胸高周囲3.1m 紀元杉**  
「屋久杉」は、屋久島の多雨と花崗岩からなる土壌の環境により病気・腐朽から守られています。



**▲千尋の滝（せんひろのたき）** 屋久島の三大名瀑の一つで、落差90mの豊富な水量を誇る滝と約200mの花崗岩の一枚岩との組み合わせは、日本最大級、遠くからから見れば、その景色には圧倒される迫力があります。



**旅行実施日 令和元年**

# 10月29日～31日

**旅行代金** (大人お1人様2名様1室利用、出雲縁結び空港起点、税込)

**スタンダードホテル (Aプラン) 136,800円**  
**デラックスホテル (Bプラン) 146,800円**

※別途燃油サーチャージ2,000円が必要となります。(変更になる場合があります)  
※お1人様ご希望の場合2泊でAプラン20,000円・Bプラン30,000円(税込)の追加となります。  
※お1人様お申込で部屋数をご希望の場合でも、相手が見つからない場合、お1人様1部屋追加料金を申し受けます。

**募集人員** 80名様 [Aプラン:40名・Bプラン:40名] (最少催行人員65名様)  
**申込締切日** 令和元年9月27日(金) (ただし、満席になり次第締め切ります)  
**申込金** 30,000円 (旅行代金に充当します)  
**添乗員** 出雲縁結び空港より同行し旅程管理業務を行います  
**利用航空会社** フジドリームエアラインズ (FDA) チャーター便  
**食事条件** 朝食2回、昼食3回、夕食2回  
**利用/バス会社** 屋久島の観光(株)・種子島井元観光 又は同等クラス

### 旅のポイント

- 出雲縁結び空港から、FDA直行チャーター便で楽々ひとっ飛び!! (約1時間20分で種子島へ)
- 世界自然遺産に指定されている自然豊かな屋久島・種子島の人気スポットを巡ります。
- ご宿泊は、スタンダードホテル利用 (Aプラン) もしくは、デラックスホテル利用 (Bプラン) をお選びいただけます。両プランとも2名様より1部屋利用となります。

行程	朝食	昼食	夕食
<b>1</b> 出雲縁結び空港(10:50~11:20) → 種子島空港(12:10~12:40) = = ○JAXA種子島宇宙センター = ○種子島最南端・門倉岬 = = 西之表港(60分) 安房港 = 屋久島(油)(18:00)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<b>Aプラン</b> ホテル(8:30) = ○千尋の滝 = ○ヤクスギランド = ○紀元杉 = = 杉匠 [昼食&お買い物] = ○屋久杉自然館 = = ○屋久島環境文化村センター = シーサイドホテル屋久島(油)(16:30)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<b>Bプラン</b> ホテル(8:30) = ○志戸子ガジュマル園 = ○屋久島環境文化村センター = = 杉匠 [昼食&お買い物] = ○屋久杉自然館 = = ○ヤクスギランド = ○紀元杉 = 屋久島いわさきホテル(油)(17:00)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<b>2</b> ホテル(8:30) = ○志戸子ガジュマル園 = 宮之浦港 ~~~~~ 西之表港 =	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<b>Aプラン</b> ホテル(8:30) = ○志戸子ガジュマル園 = 宮之浦港 ~~~~~ 西之表港 =	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<b>Bプラン</b> ホテル(8:00) = ○千尋の滝 = 宮之浦港 ~~~~~ 西之表港 =	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<b>3</b> = ○種子島開発総合センター(鉄砲館) = 西之表 [昼食] = = 種子島空港(15:00~15:30) → 出雲縁結び空港(16:20~16:50)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

## 選べるホテルをど留意!! 両プランとも 楽々2連泊

スタンダードホテル(Aプラン)	デラックスホテル(Bプラン)
<b>シーサイドホテル屋久島</b> 2連泊 東シナ海を望む小高い丘に建つホテルでおくつろぎください。 外観 イメージ 客室 イメージ 大浴場 イメージ	<b>屋久島いわさきホテル</b> 2連泊 雄大な自然に囲まれた近代的な設備を整えたリゾートホテル。 外観 イメージ 客室 イメージ 大浴場 イメージ

※上記ホテルは、同等クラスまたは同等クラス以上に変更になる場合があります。最終しありてご案内いたします。お部屋は洋室と和室となります。(指定はできません)

### 国内旅行条件(要約)

本旅行は次の条件に基づきます。  
この条件を踏まえてお申し込みください。お申し込み後、本旅行の条件を踏まえてお申し込みください。  
お申し込み後、本旅行の条件を踏まえてお申し込みください。

**国内旅行保険加入のおすすめ**

旅行のお問い合わせは、お申し込みは、下記旅行センターへ  
【株式会社農協観光代理業】観光庁長官登録旅行業第939号

島根県知事登録旅行業者代理業第17号

JALしまねやすき旅行センター 0854-28-6699  
JALしまね南旅行センター 0854-42-9118  
JALしまね川旅行センター 0853-73-9625

JALしまね石見銀山旅行センター 0854-82-3501  
JALしまね旅行センター本部 0853-25-8907

旅行企画・実施 NOKYO TOURIST CORPORATION

旅行業公正取引 旅行業協会 観光協会の会費

**株 式 会 社 農 協 観 光**

島根支店 TEL 0852-26-2600  
出雲営業支店 TEL 0853-21-3305

本旅行の条件は、本旅行の条件に基づきます。本旅行の条件を踏まえてお申し込みください。お申し込み後、本旅行の条件を踏まえてお申し込みください。



JA  
自己改革  
実践中

JAグループ島根

# JAしまね農業振興支援事業 活用事例のご紹介



JAしまねでは、経営拡大に向けた基盤整備や機械等の更新対策、県域でのモデル事業を実施するために、「JAしまね農業振興支援事業」に取り組んでいます。

古谷光教さん（44歳）は、隠岐郡知夫村で繁殖牛を飼育しています。知夫村での飼育は、その環境を活かした放牧が主となりますが、一方で放牧であるが故の事故や牛の行方不明などが起こりやすい状況があります。古谷さんは牛たちが事故にあわないよう、毎日の観察や見回りを徹底するなど、細やかな気配りを欠かしません。

JAしまね農業振興支援事業は平成29年11月に新規就農の際、就農にあたって必要となる牛舎の整備や畜産専用機械の導入、また牛の価格高騰が続いていることから所得の安定を図るため繁殖母体となる雌牛の早期確保に活用しました。

新規就農者や後継者不足など隠岐地域の大きな課題に向け、JAには新規就農者や家畜農家への継続的な支援を期待しています。

古谷さんからは「年間出荷頭数30頭が目標。知夫村全体の出荷頭数の増加に貢献したい」と意欲をお話いただきました。

隠岐郡知夫村 古谷 光教さん



## 一所懸命 青年連盟

### JAしまね島根おおち青年連盟

JAしまね島根おおち青年連盟は、島根県のほぼ中心にある邑南町、川本町、美郷町、江津市桜江町の盟友146名で構成されています。活動については、食農教育活動に力をいれており、管内の保育所、園に野菜苗を配布し、その収穫した野菜と盟友が作った野菜を使って「愛菜カレーの日」というイベントを開催しています。管内すべての保育所、園（16ヶ所）で、園児と一緒に野菜を切ったり、皮をむいたりしてカレーを作り、食べて交流しました。また、盟友が食に関する紙芝居を読んで園児達も熱心に聞いていました。今後もJAしまね島根おおち青年連盟は、未来を担う子供たちと一緒に、食農教育活動を続けていきたいと思っています。





## 「9月のふれあいの日」変更のお知らせ

「9月のふれあいの日」の日程が下記のとおり変更となります。  
皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

# 9月18日(水)～19日(木)

## 【変更前は、9月11日(水)～12日(木)】

JAカレンダーの日程の変更等、よろしくお願いたします。

## わ い わ い ひ ろ ば

このページは皆様のお便りが頼りです。

お便りお待ちしております♪

### ● 読者コーナー

■先日、孫の小学校行事で、夕涼み会が行われました。父兄が画策した仕掛けがとても上手かったのか、6年生の女の孫は怖くて泣いてしまったようです。ちよつとやりすぎ？  
(Hさん)

■我が家でとうもろこしを作っています。一度にたくさんでき、孫に送ってやりますが、それでもまだまだたくさん余ります。冷凍しておきますが、やはり、味が落ちます。7月号のレシピ「とうもろこしごはん」を参考にさせていただきます。  
(Sさん)

■いつも楽しみに読んでいます。挿入してある旅行の案内に心惹かれますが、残念ながら現実にはありません。読めば何かしら教わります。高齢化で除草剤を使用される方が増え、裏の小川の虫が、今季2匹に減りました。  
(Mさん)

■今年も地元特産のぶどうを身内・お友達に送らせてもらい、とても立派で美味しかった、と返事してもらいました。嬉しいですね。  
(Hさん)

■就寝の際、エアコンの温度を下げすぎてしまい、朝方、寒さで目が覚める…。そんな悪循環に陥っている毎日です。快適な室温を探しながら、私の夏は過ぎていきます。

8月も後半にさしかかりましたが、暑い日が続きますので、体調にはどうか、お気をつけください。

## ATM一部サービス休止のお知らせ

いつもJAバンクをご利用いただき、ありがとうございます。  
この度、誠に勝手ながら、ATM・JAネットバンク等、下記の日程につき、**一部のサービスを一時休止**させていただきます。ご不便をおかけしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

	2019年 9/21 (土)	2019年 10/19 (土)	2019年 11/2 (土)
県外JA 他金融機関等	終日休止	終日休止	終日休止
県内JA	利用可能	利用可能 21:00- 休止	利用可能

- ◎県外JAや他の金融機関等を介するお取引につきましては、終日休止となります。
- ◎県内JA間でのお取引につきましては、10/19(土)の21時以降を除き、通常の土曜日どおりご利用いただけます。

休止させていただくサービス

<b>ATM</b> (コンビニ等含む)	<b>JA</b> ネットバンク	<b>デビットカード</b> サービス J-Debit
<small>JAネットバンクではコンビニやその他の取扱金融機関のATMを利用したすべてのサービス(ペイジーを含む)が利用できません。</small>	<small>ペイジーの取引(公共料金等の収納サービス)および、振込時の口座確認機能は利用可能です。</small>	<small>デビットカード機能がついたJAネットバンクカードによるJ-Debit加盟店での代金決済は利用可能です。</small>

■お問い合わせ■ JA 金融課 ☎0854-82-9054





# 医療法人 郷原医院 健康豆知識



院長 福田 亮先生

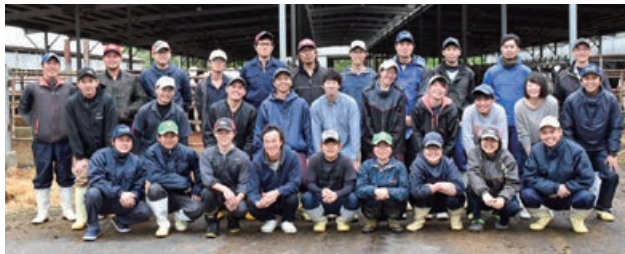
## 汗をかくことが目的ではない

脂肪をいかに運動エネルギーに変えるか、それが肥満解消のための運動のポイントです。「発汗」で「痩せる」と思っている人が結構いますが、運動は発汗を伴うと思いません。発汗自体は体温調節の手段であり、エネルギー消費にはなりません。過度の発汗は脂肪燃焼ではなく、危険な脱水でしかありません。炎天下では動かなくても汗は出ますし、サウナでじっとしていても汗だけは出ます。確かに発汗すると体重は減りますが、水分をとると元に戻ります。この場合、運動エネルギーの消費はないので、後でビールを飲んだり、バーベキューをすると、カロリーは減るどころか逆に増えてしまい、「おかしい、痩せん」となります。基本的にエネルギーは「仕事」で消費されます。庭に座って草取りをするのも仕事、「デスクワーク」も仕事と人は言いますが、これは違います。一方、鉄アレイを持ち上げたり、自分の体を引っ張って歩行、ランニングするのは

「仕事」です。この場合の仕事とは「力学的仕事」で、自分の体を含めて重いものをどの程度(距離)動かしたかを言います。だから自分が動かない場合は、何時間やっても仕事量はゼロです。また、動いても数メートルで座って、また数メートル程度の繰り返しでも万歩計を付けると結構な歩数が出ますが、ほとんど「仕事」になりません。誰にでもできる単純で効率が良い「仕事」は、自分の体重を背負って距離を歩くということでしょう。歩行の持続は脂肪酸を燃やす有酸素運動なので、脂肪を燃焼させて結果的に痩せます。さて、夏場に多くの人が汗を流す草刈りですが、思い切り汗をかいて脱水の危険を冒す割には、カロリー消費は多くありません。使ったカロリーと水分は、ビールを飲んでプラスマイナスゼロ辺りなので、このときは美味しくビールをいただくのが、丁度良いだろうと思えます。

### 石見銀山地区本部管内 7月子牛市場ランキング ベスト5 (本人取り除く)

▶来月も頑張ります。



水上市  
(株)大田原農場  
メス最高  
又キ最高



# 子牛市場

令和元年7月17日

#### 【又キ】

順位	地区	氏名	体重	日齢	父	祖父	祖祖父	祖々祖父
1	水上	(株)大田原農場	343	270	百合茂	安福久	平茂晴	金幸
2	水上	(株)大田原農場	292	273	幸紀雄	安福久	平茂勝	神高福
3	志学	高田 雅晴	352	301	美国桜	勝忠平	金幸	忠福
4	井田	森 德行	326	277	久茂福	勝忠平	安福久	平茂勝
5	水上	(株)大田原農場	312	287	美津照重	百合茂	福之国	安平

#### 【メス】

順位	地区	氏名	体重	日齢	父	祖父	祖祖父	祖々祖父
1	水上	(株)大田原農場	288	284	安福久	勝忠平	美津福	平茂勝
2	池田	小谷 俊夫	296	286	美国桜	勝忠平	安福久	金幸
3	志学	高田 雅晴	345	278	福之姫	安福久	平茂勝	神高福
4	水上	(株)大田原農場	327	271	幸紀雄	茂洋	平茂勝	神高福
5	富山	竹下 満	277	276	聖香藤	百合茂	北国708	糸光

#### 7月子牛市場の成績表

(本人取り含む・金額は税込)

種別	市場	取引頭数	最高価格	最低価格	平均価格	対前月	対前年同月	平均体重	平均日齢
メス	管内	25	1,137,240	380,160	657,461	929	27,139	269	276
	中央	93	1,137,240	211,680	692,187	2,484	12,134	281	279
	県	135	1,137,240	211,680	670,032	-19,671	13,118	282	283
又キ	管内	18	1,243,080	657,720	817,020	58,467	87,480	312	284
	中央	116	1,243,080	250,560	824,226	66,245	43,884	303	273
	県	164	1,243,080	250,560	807,998	50,017	45,506	308	277



ハチを見かけたら巣づくり警報!

無料調査

ハチ 駆除

近寄らず、触らず!!  
ハチの駆除はプロにお任せください。

ハチの駆除をご希望の方は  
最寄りのJAまでご連絡ください。  
JAしまね取扱業者(株)コダマサイエンスの  
地区担当者が訪問させていただきます。



お問い合わせ先  
最寄りのJA各支店・  
支所にお問い合わせ  
ください

取扱業者

(公社)日本しるあり対策協会企業登録(島根県002・鳥取県002)

株式会社 **コダマサイエンス**

■本社 / 島根県松江市西嫁島2-8-23 ☎0852-43-0852

■松江営業所 / ☎0852-26-6757 ■江津営業所 / ☎0855-52-6852

■益田営業所 / ☎0856-22-5390 ■隠岐営業所 / ☎08512-2-2471



# 島根県立農林大学校 入学試験実施のお知らせ

- 募集人員** ①農業科(有機農業・野菜・花き・果樹・肉用牛) / 40名【修業年限2年】  
②林業科 / 20名【修業年限2年】  
③短期農業経営者養成科 / 5名【修業年限1年】

- 試験日** 学校長推薦 / 令和元年10月30日(水)  
一般前期 / 令和元年12月11日(水)  
一般後期 / 令和2年2月13日(木)  
地域推薦 / 随時  
自己推薦 / 令和元年10月30日(水)、31日(木)  
※一般後期試験は実施しない場合があります。

- 試験会場** 島根県立農林大学校 (大田市)

◆詳しくは◆  
農林大学校の  
ホームページ、または  
農林大学校  
☎0854-85-7012  
まで。







ぎんぎんテレビで放送♪

# 地サンの地ショー

Chisun Chishow Cooking

## クッキング

今月の料理

### 「今が旬のトマトレシピ」

今月の先生

JAしまね石見銀山女性部  
部長  
森脇 岸江さん



#### ① トマトと玉ねぎの味噌汁

<材料(4人分)>

- ・トマト 2個
- ・豚小間切れ 100g
- ・塩 小さじ1/2
- ・味噌 大さじ2
- ・玉ねぎ(大) 1個
- ・酒 大さじ1
- ・水 200cc(1カップ)
- ・オクラ 3本

<作り方>

- ① ヘタを取ったトマトを1.5cm程度のざく切りに、玉ねぎは薄くし型に切る。
- ② ①と酒、塩を鍋の中に入れ、中火で煮る。沸騰してきたら蓋をして、さらに5分煮る。
- ③ トマト、玉ねぎから水分が出てきたら、水を加える。
- ④ ③に豚肉を加え、火が通ったら味噌を溶き入れて、器に盛り、輪切りにしたオクラを加える。



#### ② トマトコンポート

<材料(4人分)> ・ミニトマト 300g ・砂糖 大さじ1

<作り方>

- ① ミニトマトのヘタを包丁で切り、湯むきする。
- ② 器に盛って砂糖をかけ、一晚おく。※お好みで酢をかけてもよい。

#### ③ トマトおでん

<材料(4人分)> ・トマト(中) 4個 ・鶏肉ミンチ 50g ・玉ねぎ 1/4個 ・パン粉 大さじ1  
・溶き卵 1/4 ・だし汁 500cc ・塩 少々 ・片栗粉 大さじ2

<作り方>

- ① トマトをお湯に10秒程度つけ、湯むきして、中をくり抜く。
- ② 玉ねぎをみじん切りにし、鶏ミンチとパン粉、溶き卵、塩を加えて混ぜ、トマトの中に詰めていく。
- ③ だし汁に入れ、10分程度中火で煮る。
- ④ 器に盛り、冷やして完成。※お好みで片栗粉を加え、とろみをつけるのも、おすすめ。

#### ④ 焼きピーマンの鶏ミンチのせ

<材料(4人分)> ・ピーマン 4個 ・鶏肉ミンチ 50g ・玉ねぎ 1/4個 ・パン粉 大さじ1  
・溶き卵 1/4 ・塩 少々 ・片栗粉 適量

<作り方>

- ① ピーマンを洗って半分に切り、種とワタを取り除き、片栗粉をまぶしておく。
- ② 玉ねぎをみじん切りにし、鶏ミンチとパン粉、溶き卵、塩を加えて混ぜ、ピーマンの中に詰める。
- ③ フライパンを熱し、鶏ミンチを詰めた部分を下にして焼き、上下に返しながらか焼き色を付ける。

※「③トマトおでん」と「④焼きピーマンの鶏ミンチのせ」の中に入れる「鶏ミンチ」は、共通で使用できます。

提供：石見銀山産直出荷者協議会

### 年金無料相談

複雑な年金手続きのお手伝いをいたします。  
どなたでもお気軽にご来店ください。

8月25日(日)JA仁摩支店 ☎0854-88-2120

9月 8日(日)JA高山支店 ☎0854-89-0533

※時間はいずれも9:00～15:00

### JA グリーンおおだ

9月は、休まず営業いたします。

- ・毎月5のつく日はポイント5倍!
- ・毎月0のつく日は玉子が半額!
- ・毎週火曜日は火曜均一セール!
- ・毎週木曜日は午後4時から夕方市!

## 簡単ガパオライス



ご飯の上にピリ辛いひき肉を乗せ、目玉焼きと一緒に食べるタイ料理の定番ご飯「ガパオライス」です。日本人の口にも合う味です。暑い夏にピッタリの料理で、フライパンひとつで作れるので、サッと手早く食べたい時にもおすすめです。

### ●材料（2人分）

鶏ひき肉……………	180g	赤唐辛子（小口切り）……	1本
酒……………	大さじ1	卵……………	2個
赤パプリカ……………	1/2個	④ オイスターソース、ナンプラー …………… 各大さじ1 砂糖…………… 小さじ1/2	
ピーマン……………	60g		
玉ねぎ……………	60g		
バジル……………	20枚	サラダ油……………	大さじ1
にんにく（みじん切り）…	5g	ごはん……………	2人分

### ●作り方

- ①玉ねぎ、ピーマン、赤パプリカは1cm角切り。
- ②フライパンにサラダ油、にんにく、赤唐辛子を入れ香りをだす。
- ③鶏ひき肉を入れ、酒をふりかけて炒める。
- ④玉ねぎ、ピーマン、赤パプリカを入れ炒め、しんなりしたら④の調味料を入れる。
- ⑤手でちぎったバジルを軽くまぜ、火を止める。
- ⑥目玉焼きを焼く。
- ⑦皿にごはんを盛り、⑤と目玉焼きをのせる。

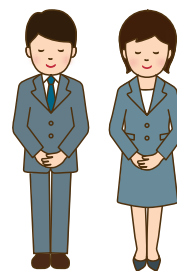


## JA共済ご加入時における おさいふカードへのポイント付与廃止のお知らせ

平素はJAしまねをご利用いただき、誠にありがとうございます。

さて、当JAでは、新規でJA共済にご加入いただいたご契約者のみなさまに、「おさいふカード」へのポイント付与を行っておりましたが、**行政庁の指導により**、令和元年9月30日までの新規共済契約をもちまして、おさいふカードへのポイント付与を終了させていただきます。何卒ご了承いただきますよう、よろしくお申し上げます。

今後も組合員・利用者のみなさまにご満足いただけるサービスの提供に努めてまいりますので、変わらぬご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



### 表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通（ののむらなおみち）先生に描いていただいています。

今月の表紙は大田市三瓶町の「浮布池」です。浮布池は、三瓶山の堆積物が谷の出口をふさいで出来た堰き止め湖で、池の南岸近くにある中の島には瀬幣姫神社（にべひめじんじゃ）が祀られています。池の北岸からは水面に浮かぶ神社の鳥居が望め、幻想的な風景が当地に伝わる女性と大蛇の悲恋伝説を連想させます。

### 編集後記

本店トピックスでご紹介した「アグリミーティング」と「大産直市」。私も高校生ブースを見学しましたが…、高校生たちがキラキラした眼差しで商品を説明してくれると買わないわけにはいきませんよね。おすすめされるがまま、ついつい買すぎてしまいました。後悔はありません。おじさんは格好をつけたかったのです。高校生のみんな！おいしかったよ！（和）

### 【今月の表紙の原画】

レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっております。原画の全体は次のとおりです。

